

事業概要：東御市宿泊交流拠点施設整備事業

申請者	長野県東御市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,268,281千円 (570,541千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野（大項目）	強い経済分野
目的・効果	<p>東御市には、多彩で魅力ある観光資源が存在しているが、観光客の当市内での観光消費は伸び悩んでいる。その背景として、当市内の宿泊施設の不足、不十分な観光地域づくり体制、体験型・滞在型メニューの不足、インバウンドへの不十分な対応、当市の観光地としての知名度の不足等の課題がある。こうした課題が相互に絡み合うことで、地域内における観光消費の増大や波及効果の拡大が実現しにくい。この状況を打破するため、観光客の「認知」から「滞在」「体験」「周遊」「消費」へと至る一連の導線を再構築し、地域資源を最大限に活かした戦略的かつ持続可能な観光振興施策を設計・実施する。</p>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	<p>【事業概要】 観光消費の増大及び域内循環を促進するため、本事業で整備する宿泊交流拠点施設等を起点とした体験型・滞在型メニューやインバウンドへの対応の充実等により、東御市ならではの魅力を滞在中に深く体感できる仕組みを構築する。さらに、里山に囲まれた、道の駅にも近い地域に宿泊交流拠点施設を整備する。脱炭素にも配慮したこの施設には、宿泊機能に加え、地域食材を活かした飲食機能、観光情報の発信機能等も持たせる。これらの施策により、観光客の滞在時間や消費額の増加を図り、観光を起点とした地域経済の活性化を目指す。</p> <p>【ソフト事業】 ・プロモーション 16,780千円 ・宿泊交流施設の機能強化 15,202千円 等</p> <p>【拠点整備事業】 ・設計・監理 166,050千円 ・用地造成 235,905千円 等</p> <p>※効率的・持続可能な事業の実現のため、設計・建設・運営を民間事業者が一体的に担うDBO方式を活用した事業スキームで推進する。</p>					 <p>イメージ図</p>	